

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予察防除情報第5号

いちご ハダニ類（育苗床）の防除対策について

現在、いちごの育苗床においてハダニ類の発生が多くなっています。苗による本圃へのハダニ類の持ち込みを防ぐため、育苗期間中に防除を徹底し、今後の発生状況に注意をお願いします。

記

1. 発生状況

7月前期の巡回調査（30筆）の結果、寄生株率は13.8%（平年 3.3%）、発生圃場率は46.7%（平年 24.1%）と平年より高く（図1、2）、地域によっては多発圃場がみられた。

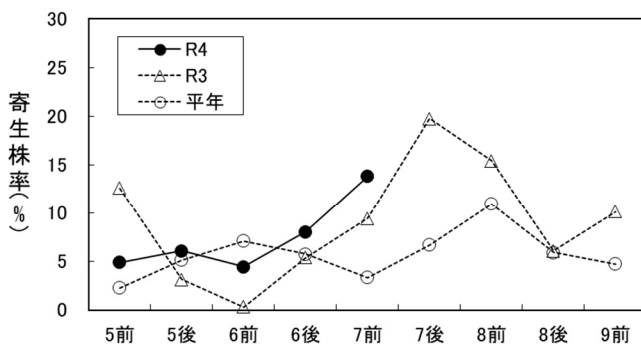


図1 ハダニ類 寄生株率の推移

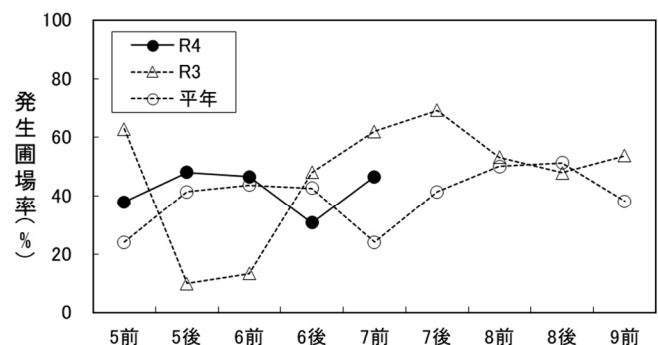


図2 ハダニ類 発生圃場率の推移

2. 防除対策

- (1) 土着天敵の活動が活発になる時期であり、天敵への影響が大きい有機リン系・カーバメート系・合成ピレスロイド系薬剤の使用は避け、気門封鎖剤等の天敵に影響の少ない薬剤を積極的に使用する。なお、気門封鎖剤は卵に対する効果が低いので5～7日おきに連続散布を行う。
- (2) 散布にあたっては、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。
- (3) 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和4年長崎県病害虫防除基準P216～219の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。
- (4) 除去した茎葉や除草作業で生じた植物残渣は育苗床周辺に放置せず、すみやかに処理する。
ハダニは寄生している植物が枯れ始めた場合、短時間で（夏期は当日中）にその植物を離脱し新しい餌植物を求めて徘徊するため、圃場周辺の環境整備に努める。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）ホームページ」アドレス：<http://www.jppn.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病害虫発生予察室

（長崎県病害虫防除所）TEL：0957-26-0027

